



河野建設文化スペシャル

和ガラスの美を求めて

— 瓶泥舎コレクション —



2017
9.16[SAT]-11.5[SUN]

岡山市立オリエント美術館

開館時間▶午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

毎週月曜休館 ただし、9月18日(月・祝)、10月9日(月・祝)は開館し、翌日休館。

入館料▶当日:一般1,100円(前売900円)、満65歳以上/高大生800円(前売600円)、小中生500円

※20名以上の団体は各100円割引、その他割引は当館へお問い合わせください。

※障害者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1名は無料

前売り券は、当館受付、当館周辺ギャラリー、岡山市内主要プレイガイド、コンビニ店頭等でお求めください。

セブンチケット <http://7ticket.jp> ローソンチケット Lコード 62827 チケットぴあ Pコード768-532

コンビニ店頭では9月16日から、一般(当日券)のみの販売となります。

協力▶瓶泥舎びいどろ・ぎやまん・ガラス美術館 主催▶岡山市立オリエント美術館、OHK岡山放送
後援▶岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、岡山市連合町内会、岡山市連合婦人会、岡山市PTA協議会、公益社団法人岡山県文化
連盟、岡山オリエント協会、岡山市立オリエント美術館友の会、山陽新聞社、朝日新聞岡山総局、読売新聞岡山支局、毎日新
聞岡山支局、産経新聞社岡山支局、中国新聞備後本社、岡山リビング新聞社、高松リビング新聞社、FM岡山、oniビジョン

特別協賛▶ 河野建設株式会社

The Beauties of Japanese Glass

THE BINDEISHA COLLECTION



1



2



3



4



5



6

河野建設文化スペシャル

和ガラスの美を求めて
— 瓶泥舎コレクション —

- 1 型吹き黄色菊文鉢 五口
江戸時代(1711-1781年)
- 2 切子四段重
江戸時代-明治時代前期(1844-1887年)
- 3 青緑色蕪形徳利
江戸時代(1772-1844年)
- 4 金彩波頭文金魚器
文政3年(1820年)
- 5 型吹き瓜形蓋物
江戸時代(1711-1781年)
- 6 型吹き緑色菊水文蓋物
江戸時代(1711-1781年)

■作品の所蔵館のご紹介

瓶泥舎びいどろ・ぎやまん・ガラス美術館

〒790-0847 愛媛県松山市道後緑台7番21号 TEL&FAX:089-922-3771
開館時間:午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日:火・水曜日
※予約制ですので事前にご連絡ください。

ガラスは、4千年ほど前のメソポタミアで作られ、人工の工芸素材です。弥生時代から古墳時代の墓から中国製や西アジア製のガラス製品が出土し、正倉院にはペルシアのカット・ガラスが納められているように、早くから日本へも伝わってきました。戦国時代には、中国を経由してヨーロッパのガラス容器までもが運ばれてきましたが、我が国独自のガラス文化が成立・発展するのは、17世紀前半から半ば以降のことです。

和製吹きガラス「びいどろ」は、長崎に始まり、大阪や京都、江戸に広まっていく中で、日本特有の感性に育まれながら、実に多様な生活道具が作られるようになりました。19世紀に入り、ヨーロッパ製の高質なガラスに近いガラスが作られるようになると、精緻な切子装飾を施した「ぎやまん」が普及し始めます。中でも薩摩藩の切子ガラスは、大名の贈答品として、珍重されました。

本展は、瓶泥舎びいどろ・ぎやまん・ガラス美術館(愛媛県松山市)が所蔵する、美しい和ガラスコレクションから、盃や徳利、皿や鉢といった贅を尽くした飲食器をはじめ、簪(かんざし)や櫛などおしゃれのための道具、金魚鉢や虫籠や吊り灯籠や屏風に至るまで、現在では見られなくなった、和のガラス製品を紹介します。江戸の数寄者たちの美意識を反映した、粋なガラスを存分にお楽しみください。

■特別講演会

「江戸ガラスと瓶泥舎コレクション」

講師:東 容子(MIHO MUSEUM 学芸員)
期日:9月16日(土) 午後1時30分から

「ガラスを分析する楽しみ

—和ガラスの組成的変遷を探る—

講師:中井 泉(東京理科大学理学部教授)
期日:10月28日(土) 午後1時30分から

いずれも聴講料500円(友の会会員は300円)、定員50名(要予約)

■体験教室

「切子ガラスのコスターを作ろう!」

板ガラスのカット体験。カットマシンを使って、和柄のコスターを作ります。

講師:迫田岳臣(ガラス作家、倉敷芸術科学大学主任技術員)
期日:10月7日(土) 午前10時から、午後1時30分から
参加人数:各回6名
参加料:500円(別途入館料)

Okayama Orient Museum 岡山市立オリエント美術館

〒700-0814 岡山市北区天神町9-31 Tel.086-232-3636
<http://www.orientmuseum.jp>



- JR岡山駅東口より路面電車「東山」行きで約5分、「城下」下車、左手すぐ。
- JR岡山駅東口より徒歩15分。

※当館には駐車場はありませんが市営天神町駐車場をご利用の場合、当館受付にて割引券(1台につき100円)を交付します。
※公共交通機関をご利用ください。